

JGAP認証維持審査が終わりました

10月18日(月)に、昨年度認証取得したJGAP認証の維持審査を実施しました。今年度は豚の維持審査に加え、品目の追加として肉用牛や自給飼料生産が加わり、昨年度よりも内容の濃い審査となりました。生徒それぞれが審査員の方へ、取組み内容や状況を説明し、書類・現場の確認、どちらにも滞りなく進めることができました。当日までに模擬審査や現場の確認、役割分担をし、一人ひとりが役割をしっかりと果たすことができ、審査員の方には「生徒だけで審査ができるなんてすばらしい」と褒めていただきました。今後は是正箇所を修正し、その後、認証という流れになります。JGAPの有効期限は2年なので、来年度は認証の更新審査になります。上級生からこの活動が引き継がれ、今度は下級生たちが取組みの中心となっていきます。

このように、認証審査は終わりましたが、来年度に向けた活動はここから進んでいきます。2月頃から来年度用のGAPチームを作るので、参加したい人はぜひ一緒に頑張りましょう。



↑ 現場確認と書類審査の様子(模擬審査)

成章高校でお米の販売会を実施!

10月8日(金)、成章高校において動物科学部で生産したお米を販売しました。成章高校の先生方を対象に販売をしましたが、多くの先生が何袋も買っていただくことができました。お米の販売だけでなく、私たちが生産する「みかわ牛」のPRも合わせて行いました。「お米は人が食べて、稲わらは牛が食べる。」ということに不思議そうにしながらも、「牛を育てているの? すごいねえ」と私たちの活動にも興味を持ってくださる方がたくさんいました。実際に牛を見てもえなくても、方法を変えて知っていただくことはできるはず。今回はお米の販売という形でしたが、今後も、私たちの活動や、みかわ牛のことをPRしていきたいように、様々な方法を考え、実行していきたいです。



第5回和牛甲子園 残りあと3ヶ月...

1月21日に実施される第5回和牛甲子園まで、残り3か月を切りました。参加校も決定し、過去最多の36校から51頭の牛が参加します。本校は3度目の挑戦になります。昨年度は取組評価部門で優秀賞を獲得することができました。今年度も成果が挙げられるようにしたいです。出品牛となる2頭と過ごせるのも、残り2ヶ月と少し。最後までケガなく、無事に送り出してあげたいですね。来月には最後の肉質診断を実施し、出荷前の肉質の確認を行います。前回の検査の結果は悪くない結果だったので、どんな結果になるか楽しみです。どちらの牛もA5ランクになるように、そして昨年以上の良い発表ができるように、準備を進めていきます。和牛甲子園での発表内容は、12月の校内プロジェクト発表会でも発表する予定です。



和牛甲子園